

# 魔法のワンドプロジェクト 実践報告

「今」の自分を好きになるために  
～タブレット端末で高次脳機能障害の特性を補う取り組み～

岡山県立岡山西支援学校  
訪問教育 教諭  
伊藤智佳

# 岡山西支援学校 訪問教育

家庭や病院への訪問による個別授業

療護センターへの訪問教育

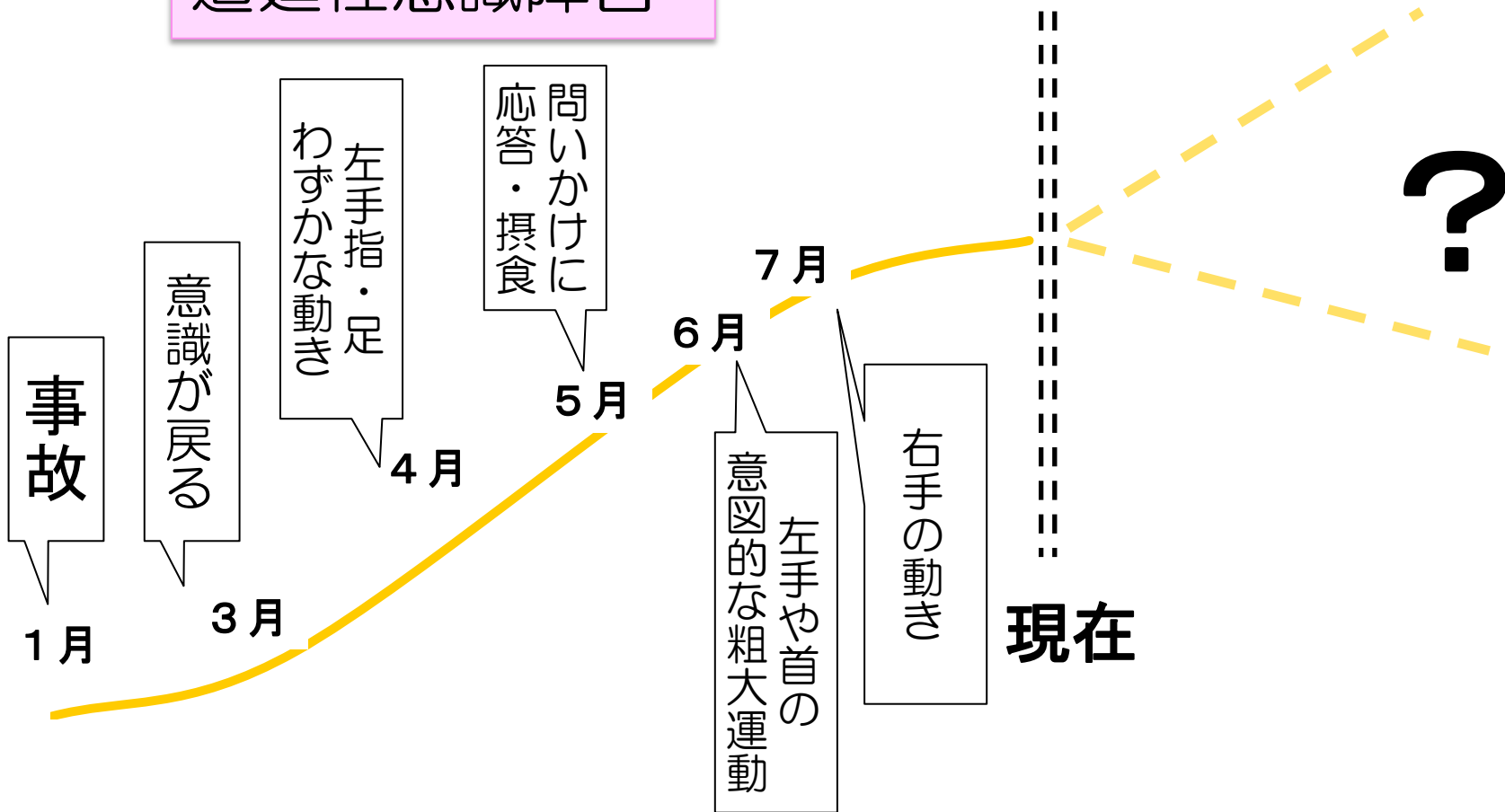
独立行政法人 自動車事故対策機構（全国に4院）

遷延性意識障害からの脱却をめざして

本校へは県外からの期限付き区域外就学

# 対象生徒 中学部1年

## 遷延性意識障害



けれども

## 高次脳機能障害

の特性と考えられる困難さは見られる。

### 高次脳機能障害

- 脳の認知機能の障害
- 記憶，行動，注意，遂行機能などの  
当たり前にできていたことが難しくなる。

実践1

iPodにヒントをもらって・・・

# 実践1の結果

	5/ 10	5/ 20	5/ 30	6/ 10	7/ 10	備考
今日の日付を 尋ねる	× 自信を もって	×	×	×	×	月カレンダー ではわからない
iPodで確認後	×	×	×	×	×	確認した後 ふせておく
iPodを提示 したまま	○	○	○	○	○	数字を指さして 伝える

○正答 ×誤答・わからない

# 他の場面でも...

	5/ 10	6/ 10	7/ 10	
自分の誕生日	○	○		数唱に うなずいて 答える
姉の誕生日	×	△		「わからない」 が増えている
姉の誕生日 (質問を提示)	○	○	○	月カレンダーを 指さして伝える
何を植えたか	×	×	×	<u>ピーナッツと</u> <u>何かの2択</u>

○正答 ×誤答 △わからない

# 質問紙への回答

第1問 好きなスポーツはどちらですか？

K

野球

サッカー

どちらでもない

第2問 好きな教科はどちらですか？

国語

社会

どちらでもない

第3問 あそびに行きたいのはどちらですか？

歴史博物館

ロボット科学館

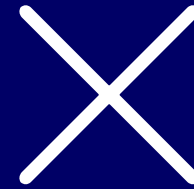
どちらでもない

自分で読みながら  
右手でチェックを入れて  
回答することができる。

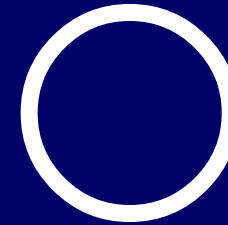


# 実践1でわかったこと

- ・新しく知ったこと
- ・視界から情報が消える
- ・質問が複雑
- ・答えるのに手間取る



- ・昔のこと
- ・目からの情報が残っている



## 必要な支援 ①

後遺症による自分の特性を理解して自ら補う

# 必要な支援①

タブレット端末を使うことで、



後遺症による自分の特性を理解して自ら補う

- ・ 忘れそうなことを  
なんでも手軽に  
入れて携帯できる。
- ・ いつでも同じ操作で  
取り出すことができる。

ことができるのでは？

カレンダー  
アルバム  
スケジュール帳…  
色々な役割がこれひとつで！！

# タブレット端末を使った結果・・・

**iPadに覚えておいてもらえる！**

自信をもって答えを  
見つけることができる  
→伝える手段が必要に  
なってきた。

**忘れたって大丈夫！**

## 実践2

# デジタル教科書を使って

- ・中学生の教科書で勉強したい
- ・保護者の支援の様子と要望から

でも…

聞き取りでは理解できない

# 実践2を継続するための配慮

## 自分で読むための支援

- ・ Assistive Touch機能の使用
- ・ 国語はPDFを逆順で
- ・ 单元ごとにPDF化。前籍校や友だちとのつながりの象徴



## 学習の記録を蓄積する支援

- ・ My Book（板書や興味ある内容を抽出したファイル）作成
- ・ マーキング

# 実践2 デジタル教科書を使って

## 実践2の結果

- ・ 自分で読めば何が書いてあるか理解でき、集中して楽しむことができる。
- ・ 使いたくない機能（左手）をつかってでもという行動が発現した。
- ・ 家族も学校での学習に期待してくれている。

## 必要な支援 ②

### 地元に戻る準備

本生徒の場合

- ・他県に入院中。3年後には地元に戻る。
- ・事故前に培ってきた  
生活環境 人間関係 学力 趣味  
などが、今後の人生のベースになる。



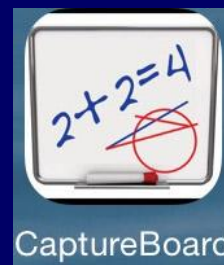
## 必要な支援②

タブレット端末を使うことで、

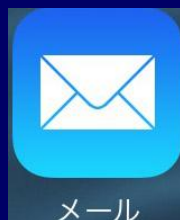
### 地元に戻る準備

をすることができるのでは？

- ・回復にあった方法で学習への興味と学力を保証



- ・理解を求めながら友だちや家族との関係を保証



# タブレット端末を使った結果…

今できる方法で中学生の勉強ができる！

- ・主体的に学習できる。
- ・回復課程で振り返りが可能な学習を蓄積できる。

簡単に情報交換ができる！

離れてたって  
大丈夫！

- ・今の自分を気軽に伝えることができる。
- ・家族からの評価

## 今後の見通し

回復の過程もスピードも  
予測できない

- ・個人差
- ・意欲

# 大切なこと

本人からのメッセージ

今の僕ができること  
不安に思っていること  
興味あること  
がっかり 笑顔

→ 一見わかりにくい障害特性を  
ツールで補える可能性

→ 今の自分を好きになる糸口